

学校教育目標	「伝えあい認めあい高めあい未来にはばたく森東の子」(R4)→「認め合い 伝え合い 共に高めあう 森東の子」(R5)				
	○自他のよさや可能性を認め、問題を解決していこうとする子 (知) ○豊かな関わりを通して、自分を伸ばそうとする子 (徳) ○心身ともに健康で、自立(自律)した生活を送ろうとする子 (体) ○地域の一員として、自らができることを考え実践する子 (公) ○コミュニケーションを通じて、社会への視野を広げようとする子 (開)				
学校概要	創立 47 周年	学校長 菊池幸博	副校長 小倉秀仁	3 学期制	一般学級：8 個別支援学級：4
	児童生徒数： 240 人		主な関係校： 森中学校 屏風浦小学校 汐見台小学校		

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	森中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
○自ら進んで学ぶ力 ○周囲と繋がりをもてる力 ○持続可能な社会の実現に向けて行動する力	森中学校 屏風浦小学校 汐見台小学校 森東小学校	「豊かな心の育成」 ～自他の心を大切に、主体的に考え行動する森・汐見台の子どもたち～ ○自らの可能性を追求し、主体的に考え行動する子ども ○お互いの心を大切に、学び合い、高め合う子ども ・教職員の授業参観や合同研修等を実施し、相互の連携を深めます。 ・小中一貫ブロック担当者や児童支援専任・生徒指導専任を中心に、児童生徒の情報交換を密にして指導にあたります。

中期取組目標	○子どもたちが、自ら学び続ける意志をもち、自他のよさや可能性を認識しながら、学ぶことができるように推進します。 ・子どもたちの探求心「やってみたい・知りたい」や疑問「なぜ・どうして・どうなっている」を大切に、主体的に学ぼうとする授業づくりを進めます。(主に1年目) ・実体験や本物に触れる機会を設け、「できた」「わかった」「なるほど」を重視しながら授業づくりを進めます(主に2年目) ・自らの考えをもち「こう思う」、他者と伝え合う中で「そんな見方もあるのか」、互いに認めあい高めあう授業づくりを進めます。(主に3年目) ○自他の生命を尊重し、心身ともに健康で安心・安全で豊かな学校生活が送れるように心の醸成に努めます。 ・子ども一人一人が、互いを尊重して、だれもが安心して豊かに生活することができる学校づくりを進めます。 ○小中一貫教育や家庭・地域と連携し、信頼に応えられる学校づくりをめざします。 ○教職員が、相互に啓発・連携して活気ある学校づくりをめざします。
--------	---

重点取組分野	具体的取組				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">知</td> <td style="background-color: yellow;">授業改善</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>研究・研修</td> </tr> </table>	知	授業改善	担当	研究・研修	①重点研究テーマ「すすんで表現し、お互いの考えを伝えあう楽しさを実感し、よりよい生き方を求める子」にそって、国語科学習および生活全般で、「見せたい伝え合いたい」という環境設定に取り組む。 ②毎時間学習計画を意識し、一人一人の基礎・基本の定着に向けて、発問・板書に着目しながら、指導の工夫・改善を目指す。 ③学級読書の時間を設け、読み物の表現から、主人公の気持ちや様子を読み取りなどして、語彙や表現の蓄積を図る取り組みを行う。
知	授業改善				
担当	研究・研修				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">徳</td> <td style="background-color: yellow;">道徳教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>人権推進 道徳推進 道徳部</td> </tr> </table>	徳	道徳教育	担当	人権推進 道徳推進 道徳部	①学校生活全般を通して、一人一人が互いのよさを認めあい、自己肯定感を高めあう取り組みを展開する。 ②あいさつの大切さや礼儀正しい態度を学び、思いやりや感謝の気持ちを育て、子どもたちの好ましい人間関係を築いていく。 ③一人一人を大切に、誰もが、安全で、安心して生活できる環境を整備する。そのために児童理解、教育相談、YP実践、特別支援教育研修等に努め、いじめを許さない風土を学校全体でつくる。
徳	道徳教育				
担当	人権推進 道徳推進 道徳部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">体</td> <td style="background-color: yellow;">健康教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>体育部 保健部</td> </tr> </table>	体	健康教育	担当	体育部 保健部	①各種感染症対策を十分配慮しながら「一校一実践」(長縄記録会)を取り入れ、体を動かす活動に取り組む。 ②学校保健委員会のテーマにもとづき、健康づくりに取り組む。 ③食育教育全体計画に基づき、各教科と関連させた取り組みを行う。
体	健康教育				
担当	体育部 保健部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">公開</td> <td style="background-color: yellow;">自分づくり キャリア教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>特活部 生活・総合部</td> </tr> </table>	公開	自分づくり キャリア教育	担当	特活部 生活・総合部	①PTAや森東小児童育成協議会(畑プロジェクト)など保護者や地域と連携しながら、自らができることを考え、実践する子どもたちの育成をめざす。 ②自らの学習状況やキャリア形成のために、「自分づくりパスポート」を活用し、自己評価をしていく。自身の変容や成長を感じられるように、前回の振り返りをもとにめあてをたてられる「自分づくりパスポート」の形式とする。
公開	自分づくり キャリア教育				
担当	特活部 生活・総合部				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">いじめへの対応</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>いじめ防止対策委員会</td> </tr> </table>	いじめへの対応		担当	いじめ防止対策委員会	①教職員のいじめ認識、いじめ認知の能力を研修等の機会を通して高めていく。同時に、児童に対しては、道徳科学習や特別活動の実践の充実を図ることで、他者への思いやりの心を伸ばすよう努める。 ②児童アンケートを定期的・適宜実施し、子どもの困り感などを教師が察知し、いじめの早期発見に努め、些細な変化を見逃さない体制づくりをする。 ③いじめの疑いがある事案に対しては、組織として迅速かつ機動的に対応し、特に初期対応を大切にす。
いじめへの対応					
担当	いじめ防止対策委員会				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">人材育成・ 組織運営(働き方)</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>教務部 メンター</td> </tr> </table>	人材育成・ 組織運営(働き方)		担当	教務部 メンター	①中高学年ブロックでは教科担当制を進め、多面的に児童をとらえ、学習・児童指導にいかす。学年ブロック研等を通して共有を図り人材育成につなげる。 ②校務のICT化、文書のスリム化、会議の精選等をいっそう推進し、ゆとりある学校運営をめざす。 ③「働きやすく、学びやすい環境」にするため、役割・引継ぎ事項を明確にして持続可能な働き方のモデルをイメージし、実践する。 ④メンターチームの充実を図り、学級運営の基礎を共有できるようにする。
人材育成・ 組織運営(働き方)					
担当	教務部 メンター				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">児童指導</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>児童指導部</td> </tr> </table>	児童指導		担当	児童指導部	①森東小スタンダードを共通理解し、教職員が統一した姿勢で指導にあたる。 ②全教職員でふれのない児童指導にあたるため、定期的に児童理解のための全体会を設定する。児童ならびに児童への指導についての情報共有し、周知徹底を図る。
児童指導					
担当	児童指導部				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">特別支援教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>特別支援コーディネーター</td> </tr> </table>	特別支援教育		担当	特別支援コーディネーター	①個別支援学級(学習室)と一般学級との連携を密にした指導・支援を積極的に展開する。 ②児童の発達の支援するという視点で研修を行い、教室環境や授業の改善を進める。 ③一人一人の特性を理解し、取り出しや入り込み等の個別指導を重ね、学習保証を図る。
特別支援教育					
担当	特別支援コーディネーター				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">地域学校協働活動</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>教務部 防災・安全部</td> </tr> </table>	地域学校協働活動		担当	教務部 防災・安全部	①地域と協働して防災訓練等の取り組める活動を模索しながら、地域との結びつきを強め、地域の中で活動できる力を育てる。 ②地域代表者と学校運営協議会の意義と役割について共有し、協議会を設置し、積極的に地域の声を学校にいかすよう努める。
地域学校協働活動					
担当	教務部 防災・安全部				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">国際交流</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>国際教育</td> </tr> </table>	国際交流		担当	国際教育	①高学年児童は、オーストラリア姉妹校と学んだ英語を使って交流し、国際感覚を高める。 ②異なる文化や言語を知ることからグローバル化する社会に対応する資質を培い視野を広げる。 ③外国籍・つながる児童との関わりから人権に配慮しお互いのよさを認め、自己肯定感を高める気持ちを育む。
国際交流					
担当	国際教育				